

林業の復興 「いのちめぐるまち」を具現化する業態へ



▲山主たちの手で管理されてきた南三陸の杉美林

写真提供 南三陸町観光協会

南三陸町は良質な杉材の生産地で知られる林業の町でもある。津波で製材所が全壊し、林業も危機的状態に陥った。しかし、先人たちの代から守られて何十年もの年輪を刻んできた森林は、震災前と変わらなかった。その力強い姿を見た林業関係者は手を取り合って立ち上がった。「豊かな海を維持するためにも林業は頑張らなくちゃいけない」という思いだったという。

町境がほぼ分水嶺と重なる南三陸町では、海、里、山がつながっている。湾内で養殖されるカキなどは山からの水に含まれる豊かな滋養で育ち、木は海からあがる霧の水分やミネラルで育てられる。2015（平成 27）年、町内の林業関係者が連携して、日本で 35 件目、宮城県で初めての F S C 国際認証を取得した。現在は町の約 12,000ha の森林のうち、約 2,470ha が国際認証林となっている。収益をあげる生業というだけでなく、多様な生物が生息する森林にしていくことで、海を含めた生命の循環を質の高いものにしていくという挑戦が続いている。

南三陸杉は生長が早く、強度に優れ、ピンクがかった美しい色が特長だ。製材、建設、プロダクト製作などの町内事業者とも連携して、CoC 認証を取得。南三陸杉の国際認証材を製品化して、広く流通させる体制も整った。

再建された南三陸町役場本庁舎と歌津総合支所には、主要な建材に FSC 認証杉材を 100% 使用し、日本で初めて FSC® 全体プロジェクト認証を取得した公共施設となった。

CoC 認証… 森林管理（FM）認証を受けた森林から産出された木材・紙製品を適切に管理・加工していることを認証する制度